

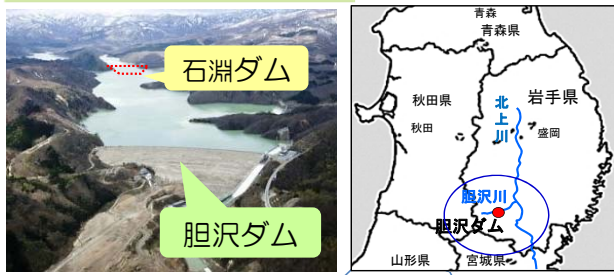
# 出水への ダム効果

# 管理移行後最大の洪水量を貯め込んだ「胆沢ダム」

～ 約3千万m<sup>3</sup>(東京ドーム23杯分)をダムに貯め下流の水位1.2m低減 ～

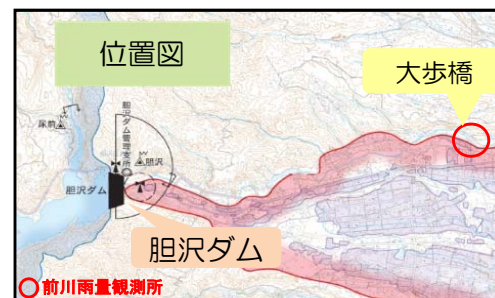
- H27年9月11日に発生した低気圧により9月10日～11日の2日間の流域平均総雨量で173.8mmの降雨が発生しました。  
(近傍の前川雨量観測所では9月10日の日雨量で103mmを記録 [過去10ヶ年で10番目])
- 胆沢ダムでは、この洪水で管理移行(2年経過)後最大の流入量 764m<sup>3</sup>/秒を記録しました。
- これは、胆沢川の観測データのある1954年(S29)年以降、62年間で6番目になる流量です。  
なお、**ダム貯水位は降雨前に比べ13.25m上昇**、**ダムに貯めた水量は東京ドーム23杯分に相当する2,895万m<sup>3</sup>**でした。
- 胆沢ダムの洪水貯留により、下流 胆沢川橋では、推定でダムが無い状態よりも**約1.2m程度川の水位を低下**させることができました。

## 胆沢ダム位置図



◆胆沢ダム貯水池◆  
洪水を貯め込むと同時に大量の流木も捕捉した

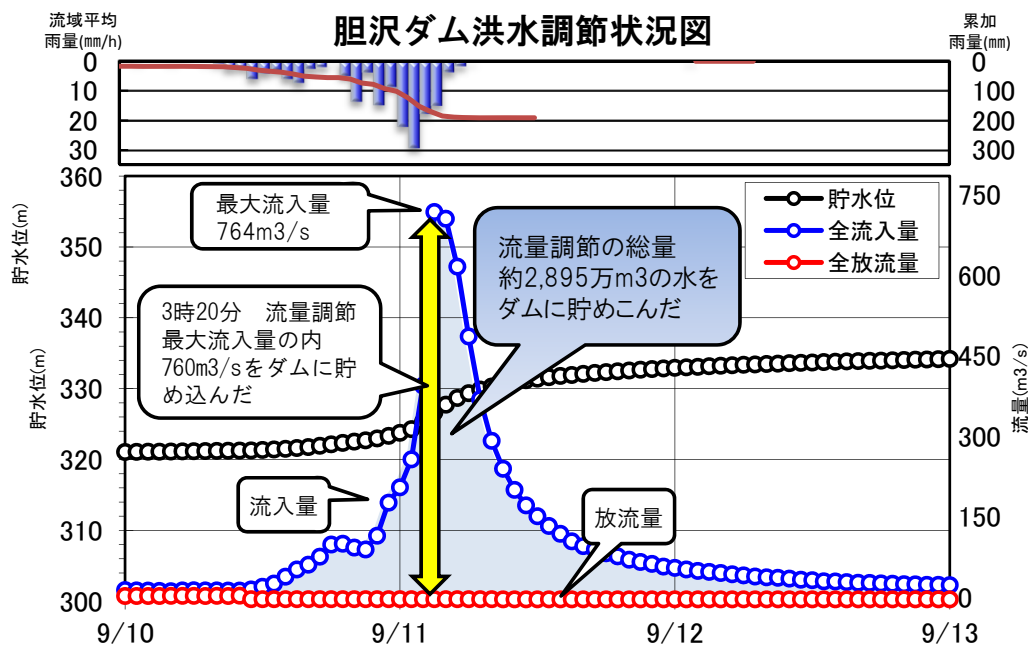
## 胆沢ダム下流・胆沢川の状況



**H19. 9. 6 石淵ダム**  
最大流入量 936m<sup>3</sup>/s  
最大放流量 679m<sup>3</sup>/s

**H27. 9. 11 胆沢ダム**  
最大流入量 764m<sup>3</sup>/s  
最大放流量 4m<sup>3</sup>/s

## 胆沢ダム洪水調節状況図



H19. 9洪水(石淵ダム)



H27. 9洪水(胆沢ダム)